

令和 6 年度

事 業 報 告 書

令和 6 年 4 月 1 日から
令和 7 年 3 月 3 1 日まで

「令和6年度 事業報告」目次

概 況

〈事業活動〉

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業（公益目定事業1）

（1）浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業	3
（2）検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業	7
（3）不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業	8
（4）浄化槽の機能保証制度に関する事業	9
（5）浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業	9
（6）浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業	11
（7）浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業	13
（8）地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業	13
（9）その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業	15
（10）その他の事業	21

2 計量証明事業（収益事業1）

（1）計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業	23
（2）分析業務に関する講習会・研修会	23

3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業（収益事業2）

（1）浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業	23
（2）浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業	24
（3）その他前各号に関連する事業	25

4 管理部門

（1）法人運営（管理）に係る事業	25
（2）会員関係	26
（3）その他	27

5 附属明細書	28
---------	----

令和6年度 事業の実施状況

令和6年度の事業計画に基づき実施した事業は次のとおりである。

【公益目的事業1】

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業

(1) 浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業 544,173千円

1) 法定検査実施状況

令和6年度は、稼働人員38名体制で、97,612基（年間計画数96,800基に対し100.9%）の検査を実施した。（P.31～P.39）

区 分	令和5年度 検 査 状 況	令和6年度 検 査 状 況	増 減
検査員数	38名	38名	0名
7条検査	2,254基 (20,796千円)	2,040基 (18,773千円)	△214基 (△2,023千円)
11条検査	94,458基 (519,451千円)	95,572基 (525,400千円)	1,114基 (5,949千円)
合 計	96,712基 (540,247千円)	97,612基 (544,173千円)	900基 (3,926千円)

検査数は、昨年度比で900基増加し、検査手数料収入は544,173千円、前年比3,926千円増の実績となった。また、11条検査の受検率は63.2%と昨年度から0.8%上回ったものの、まだ全体として約4割が未受検となっているため、浄化槽台帳の整備と併せてとくしま浄化槽連絡協議会との連携を通じ、適正な維持管理とともに受検率の向上を図る。

2) 法定検査の受検督促

令和5年度の未受検者に対して、センターからの受検指導の後、各県民局長による行政督促指導を実施した。未受検者への指導方法としては、文書通知のほか、電話や直接訪問を行い、同一施設に対して複数回の受検勧奨を積極的に行った。

前年度未受検 検査実施数： 令和5年度 (6,114基)
令和6年度 (6,127基) ※+13基

※次の①、②の合計数以外に、受検文書通知を送付していない施設（電話勧奨のみ）の受検件数も含んでおります。

①センターによる受検督促

９９，０６４基の未受検者に対して、センターから受検督促の案内通知を行ない、更に受検勧奨に従っていただけなかった８，１５０基の未受検者に対し、再案内を実施した。

(P. 40)

<センター受検勧奨>

管 轄	令和５年度		令和６年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	73,315	1,259(1.7%)	72,094	1,611(2.2%)	352
南部総合県民局	12,926	339(2.6%)	12,367	535(4.3%)	196
東部保健福祉局(吉野川)	13,868	204(1.5%)	12,834	190(1.5%)	▲14
西部総合県民局	11,290	809(7.2%)	9,919	313(3.2%)	▲496
合 計	111,399	2,611(2.3%)	107,214	2,649(2.5%)	38

②県民局長による受検督促(文書指導)

センターの受検督促後も未受検の施設に対して、各県民局長による受検督促の文書指導を実施し、通知後、電話アポインターや近隣施設の検査を担当する検査員によって再度受検勧奨を行った。その結果は次の通りである。(P. 40)

<行政からの文書指導(設置届出済浄化槽)>

管 轄	令和５年度		令和６年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	46,077	1,135(2.5%)	46,328	1,217(2.6%)	82
南部総合県民局	9,119	335(3.7%)	8,922	513(5.7%)	178
東部保健福祉局(吉野川)	6,955	508(7.3%)	6,688	188(2.8%)	▲320
西部総合県民局	5,910	227(3.8%)	5,911	233(3.9%)	6
合 計	68,061	2,205(3.2%)	67,849	2,151(3.2%)	▲54

<行政からの文書指導(無届浄化槽)>

管 轄	令和５年度		令和６年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	7,547	250(3.3%)	7,386	253(3.4%)	3
南部総合県民局	999	36(3.6%)	952	46(4.8%)	10
東部保健福祉局(吉野川)	1,721	129(7.5%)	1,633	38(2.3%)	▲91
西部総合県民局	1,309	44(3.4%)	1,627	45(2.7%)	1
合 計	11,576	459(4.0%)	11,598	382(3.3%)	▲77

③電話アポインターによる受検勧奨

センターからの受検通知・各県民局長による督促指導通知に併せて行った電話アポインターの受検勧奨の実績は次のとおりである。(P. 40)

令和６年度は、昼休みの時間帯など比較的電話が繋がりがやすい時間帯での受検勧奨や、未架電施設を減らす対策を行った結果、電話連絡総数は６２，４０６件の実績であった。依然、未検査のうち半数以上が連絡不通であるため、今後も過去の連絡履歴を分析し精度を上げること、検査員に直訪を依頼することによって、受検率向上につながるよう努める。

<u>電話アポインターによる受検指導</u>		電話連絡総数	６２，４０６件
【内訳】	申込済み	３，０２８件	(４．９％)
	未検査	５４，６９５件	(８７．６％)
	休止・廃止	３，２９４件	(５．２％)

3) 維持管理一括契約協議会

①那賀川を未来へつなぐ協議会

設立後15年目を迎えた「那賀川を未来へつなぐ協議会」は、6月に第14回通常総会を開催し、前年度の実績報告・決算報告のほか、令和6年度の事業計画案及び収支予算案について審議した。また、任期満了に伴う役員改選を行った。

令和6年度の維持管理一括契約は、保守点検や法定検査の実施時に入会勧奨を行うことにより新規契約が882件（総合計882件）となったが、その一方、老齢化に伴う施設への入所や契約者の死亡などにより解除の件数も増加したため、加入総数はほぼ横ばいとなった。

(P. 41)

また、特別認定管理士による法定検査（一次検査）の実施は、単独浄化槽281件、合併浄化槽320件の合計601件となった。

<開催事業>

(6月 25日) 那賀川を未来へつなぐ協議会 第14回通常総会

(3月 24日) 那賀川を未来へつなぐ協議会打ち合わせ会議

浄化槽設置数(10人槽以下): 2, 040基 維持管理一括契約数: 882基 (43.2%)

②神山市きれいな水づくり推進協議会

設立後14年目を迎えた「神山市きれいな水づくり推進協議会」は、7月に第13回通常総会を開催し前年度の実績報告・決算報告を行った。

令和6年度の維持管理一括契約は、新規契約が5件（総合計473件）となったが、那賀町と同様に老齢化に伴う施設への入所や契約者の死亡などにより解除の件数も増加したため、加入総数はほぼ横ばいとなった。

(P. 42)

また、特別認定管理士による法定検査（一次検査）の実施は、単独浄化槽178件、合併浄化槽95件の合計273件となった。

<開催事業>

(7月22日) 神山市きれいな水づくり推進協議会 第13回総会

(3月 18日) 神山市きれいな水づくり推進協議会打ち合わせ会議

浄化槽設置数(10人槽以下): 1, 901基 維持管理一括契約数: 473基 (24.8%)

4) 浄化槽管理士特別認定制度

認定管理士に対し、1年（優良認定管理士は2年）ごとの更新講習を各地域ごとに開催し、一次検査における精度管理の説明や水質検査機器類のクロスチェックを行った。

- 8月20日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第1回）（西部地区）（4名）
- 8月21日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第2回）（東部地区）（10名）
- 8月22日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第3回）（南部地区）（5名）
- 9月19日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第4回）（東部地区）（11名）
- 9月20日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第5回）（西部地区）（1名）
- 11月28日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第6回）（東部地区）（1名）
- 2月13日 浄化槽管理士特別認定新規講習会（第1種新規）（1名）
- 3月3日 第20回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会

【認定管理士・指定事業所（令和 7 年 3 月 31 日時点）】

認定管理士　－　1 種 13 名、2 種 39 名

指定事業所　－　23 社

【認定管理士による一次検査実績（令和 6 年度）】

1,238 件（那賀町-601 件、神山町-273 件、その他-364 件）



管理士特別認定更新講習会(8/20)



管理士特別認定更新講習会(8/21)

5) 一括契約協議会の推進

市町村単位で設立された一括契約協議会においては、海部郡の関係業者による契約推進が行われ、新規契約数は前年より 228 件増加し、累計で 650 件となった。既存の顧客に加え、海部郡衛生処理事務組合における保守点検業務の廃止に伴い、会員業者に対して新たな申込みが行われたことから、これらの案件を一括契約として取りまとめた結果、当初目標としていた 100 件を大きく上回る成果となった。

【設立済市町村】

三好市、海部郡(3 町)、美馬市・つるぎ町（合同）、小松島市、勝浦町・上勝町（合同）、那賀町、神山町

6) 継続検査制度の推進

平成 28 年度から制度を開始した「継続検査申込制度」は申込の手続きが完了した施設について、センターから返信不要の「訪問予定日通知」を送付し、検査を実施している。

現時点では概ね良好に制度が推移しているが、一部で、転居して転売した施設や、契約者が死去し、使用していない施設の検査が勝手に行われたとの苦情が寄せられるケースも出てきているため、可能な限り設置者と連絡を取り施設の状況を確認するよう対策を講じていきたい。

令和 6 年度の「継続検査申込」の申込数は 1, 6 7 1 件増加し、全体で 2 9, 9 9 0 件となった。1 1 条検査実施時に検査員が営業活動を行っており、1 1 条検査基数の安定的確保及び検査前の日程調整事務の削減に効果を上げた。

(2) 検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業

1) 浄化槽台帳システムに係るD X化の導入に向けた取り組み

浄化槽台帳高度化（台帳整備）事業により台帳の整備が完了したことから、より高度な浄化槽台帳システムの構築を目指すため、検査員による二次元コードステッカーの現地貼付を令和6年3月より開始した。令和7年3月末までの検査目標基数96,800基に占める二次元コードステッカーの貼付割合は99.9%となっている。

令和6年10月からの清掃の本格運用に先立ち、令和6年9月には県内5カ所において、県水環境整備課主催による浄化槽清掃業者の清掃実務者を対象とした説明会「D X実務者説明会」が開催され、二次元コードステッカーから情報を送信するD Xシステムの操作説明を行った。

9月3日	D X実務者説明会（阿南）	南部総合県民局阿南庁舎	（3名）
9月4日	D X実務者説明会（東部）	徳島合同庁舎 東会議棟	（37名）
9月5日	D X実務者説明会（三好）	西部総合県民局三好庁舎	（5名）
9月6日	D X実務者説明会（美馬）	西部総合県民局美馬庁舎	（7名）
9月20日	D X実務者説明会（東部）	（公社）徳島県環境技術センター津田事務所	（7名）

また、操作説明会を個別に希望する会員企業には、事務所を訪問して説明を行った。

<D X操作説明会企業一覧>

○徳島県境整備(株)（8月6日）	○(株)岩本総業（8月7日）
○(有)森清浄社（8月8日）	○毎日衛生(有)（8月9日）
○(有)井内清掃（8月9日）	○海部郡衛生処理事務組合（9月10日）
○光エンテックス（10月1日）	○(有)田中清掃（9月17日）
○(有)大松谷清掃（9月27日）	○斎藤産業(株)（10月2日）
○池田浄化槽清掃管理センター（10月21日）	○(有)たいち（11月28日）
○(有)三共クリーン（12月13日）	○城南清掃(有)（12月16日）

【事業の目的】

浄化槽本体、浄化槽管理士、浄化槽層設備士、清掃実務者、検査員のID化を図り、D X技術を活用、清掃や保守点検、浄化槽施工状況を正確に把握し、浄化槽の適正な維持管理や施工、合併浄化槽の普及促進につなげる。

【システム概要】

浄化槽の設置箇所に貼り付けられた登録ステッカー（二次元コード付）を、維持管理作業の終了時にスマートフォンを用いて読み込み、情報を送信することで、作業状況が自動的に浄化槽台帳に反映されるシステム

【ステッカー詳細】



2) 徳島県委託事業「浄化槽情報関係集約化事業」

（8,305千円）

令和6年度は、4支所において新設浄化槽2,150基の設置届出書および計画書を受理した（うち21基は取下げ届を提出）。これは昨年度に比べて25基の減少となる。

一方、検査後の指導により、無届浄化槽の届出が69基あった。

「浄化槽維持管理標準契約書」（以下「標準契約書」）については、1,943基分の契約書を申請に伴って受理し、前年度比で19基減となった。

その他の浄化槽に関する各種申請受付状況はP.43～P.45のとおりである。

3) 浄化槽台帳の運用事業

「浄化槽台帳の運用」を目的に、無届浄化槽の新規登録や市町村からの提供資料（下水道台帳）を突合し、廃止届出書の提出が無い浄化槽の確認を行い、データ整備を行った。今後は、「浄化槽台帳システムの DX 化」の導入により、未受検施設を含む清掃実施情報を収集し入力を行う。

- 無届浄化槽の新規登録件数：1 6 4 基
- 下水道台帳により確認した廃止浄化槽：1 2 9 件
- DX システムの清掃管理報告：6, 5 6 6 件

(3) 不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業

1) 不適正浄化槽の指導と改善状況

法定検査で不適正となった際には、検査結果書により改善を促し、さらに、改善報告のない浄化槽に対しては、関係行政機関（県水環境整備課、県民局（福祉局）、土木、市町村）から文書による改善指導を行っている。令和 6 年度における関係行政機関からの改善指導は P.46 のとおりである。

不適正と判定された浄化槽 1 4, 8 5 1 基（指導項目総数 1 5, 2 3 5 項目）に対し、改善指導を行った結果、令和 7 年 3 月末までに、3, 5 0 1 基（3, 5 3 2 項目）の改善報告を受け付けた。

関係行政機関別の内訳は次のとおりである。

指導する関係行政機関	指導対象	主な指摘内容	指導項目数	改善報告数	改善確認数
県 水環境整備課	保守点検業者	保守点検不備	7,713 件	2,705 (35.1%)	－
保健福祉局・県民局	浄化槽管理者	無管理等	6,384 件	686 (10.7%)	－
土木事務所・特定行政庁	浄化槽管理者	破損等	522 件	128 (24.5%)	96 (18.4%)
市町村	清掃業者	清掃不備	616 件	13 (2.1%)	－
合 計			15,235 件	3,532 (21.3%)	

※破損等（土木事務所指導分）の改善報告については、再度現場にて改善確認を行っている。

改善報告率は年度途中のため低い数値であるが、最終的には 25 % 程度の数値となると思われる。

2) 浄化槽技術検討委員会

センターでは、水質改善に関する調査研究対象として、不適正浄化槽の中から水質が悪化している浄化槽で、且つ原因が不明なものを選び、保守点検業者等と連携を図りつつ二次検査の実施を行っている。

実施件数及び結果は下記のとおりであり、結果については設置者・保守点検業者に連絡済である。

< 浄化槽技術検討委員会の開催 >

機能評価部会 : 4/24、6/26、8/26、12/24
 クロスチェック部会 : 7/4、12/10、2/25

水 質 悪 化 原 因	件数	二 次 検 査 内 容
流入 BOD の高負荷・使用水量の過多	2 件	使用状況聞取、採水 4 箇所(各 8 項目分析＋各 5 項目測定)
カマカイの発生による生物膜生育不良	1 件	使用状況聞取、採水 4 箇所(各 8 項目分析＋各 5 項目測定)
低負荷による生物膜生育不良	1 件	使用状況聞取、採水 4 箇所(各 8 項目分析＋各 5 項目測定)
使用水量の過多	1 件	使用状況聞取、採水 4 箇所(各 8 項目分析＋各 5 項目測定)
循環不良・窒素除去不良	1 件	使用状況聞取、採水 4 箇所(各 8 項目分析＋各 5 項目測定)
合 計	6 件	

3) 浄化槽の实地調査事業

(实地調査事業)

毎年、(公財)日本環境整備教育センターが合併処理浄化槽設置整備事業として行う「国庫補助指針の要件に適合した浄化槽の実態調査」の委託件数は無かった。

(4) 浄化槽の機能保証制度に関する事業

(1,992千円)(機能保証登録料)

令和6年度において、全浄連が実施する機能保証制度の登録申請書を774基(取下除く)受理した。全浄連および管轄の市町村には、保証制度登録者の受付台帳を送付した。また、設置者には機能保証登録証とともに、適正な維持管理を促すパンフレットや「標準契約書」の控えを送付し、使用開始後の適正な維持管理に関する周知を図った。(P.47)

	令和5年度		令和6年度		前年度対比 (取下除)
	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ	
書類申請	745基	21基	666基	17基	75基減
電子申請	103基	1基	130基	5基	23基増
合 計	848基	22基	796基	22基	52基減

(5) 浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認検査等の事業

1) 浄化槽なんでも相談窓口

浄化槽の普及および適正な維持管理の推進を目的に、センター内に「浄化槽なんでも相談窓口」を設置した。これにより、県民や行政担当者、関係業者からの疑問や相談など、浄化槽に関する幅広い問い合わせに対応し、サービスの充実を図った。

<浄化槽なんでも相談窓口内容(令和6年度)>

相談件数: 80件

相談内容内訳: 浄化槽工事について	17件
浄化槽維持管理について	25件
浄化槽の届出について	14件
その他について	24件

2) 浄化槽にかかる普及啓発事業

浄化槽に関する普及啓発事業として下記事業を行った。

<浄化槽月間 啓発活動>

県主催による浄化槽月間街頭啓発活動に参加し、パンフレットの配布やアンケートの実施を行った。

10月21日	マルナカパワーシティ鳴門店でパンフレット配布
10月24日	ショッピングセンターアピカでパンフレットの配布
10月30日	フレスポ阿波池田でパンフレット配布・アンケートの実施
10月31日	マルナカ三加茂店でパンフレット配布の実施



マルナカパワーシティ鳴門店(10/21) ショッピングセンターアピカ(10/24)



フレスポ阿波池田 (10/30)

マルナカ三加茂店 (10/31)

3) 支所窓口（県内4支所）

- ① 窓口業務として、来所する設置者や業者に対し、専門知識を持つ職員が浄化槽の適切な施工および維持管理に関する相談に随時対応した。
- ② 県の委託事業である浄化槽関係書類の受付業務として、届出された設置届出書等の内容を審査し、浄化槽設置者データを登録し、設置者には受理通知書を送付した。
- ③ 設置届に添付が義務付けられた「標準契約書」については、50人槽以下の全ての浄化槽において添付を確認し、維持管理を行う業者には契約手続き完了の通知を行った。
- ④ 浄化槽管理者に対し、7条および11条検査の申込書、設置届出書（または計画書）、標準契約書（50人槽以下）、もしくは検査誓約書・契約書（51人槽以上）の控え、検査料払込証明書、設置情報確認書などを発行または送付した。

4) 浄化槽設置に係る確認検査

(1,021千円)

令和6年度の委託事業として、下記市町の浄化槽設置確認検査及び事前審査を行った。

市 町 村	事業内容	令和5年度	令和6年度	前年度対比
徳島市	設置事前検査業務	61基	72基	11基増
	設置確認検査業務	60基 (331千円)	65基 (438千円)	3基減 (107千円増)
東みよし町	中間検査業務	48基	51基	3基増
	完了検査業務	41基 (489千円)	55基 (583千円)	14基増 (94千円増)

5) その他の啓発

インターネットによるホームページを活用し、浄化槽のしくみや正しい知識に関する情報を適時に掲載し、浄化槽の適正な施工及び維持管理の普及啓発に努めた。

(6) 浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業

1) 浄化槽教室の開催

新規に浄化槽設置の届出を行った方々を対象に「浄化槽教室」を開催し、受講者には受講証明書を発行した。また、市町村の担当課には、受講者台帳を送付した。(P.48)

令和6年度の受講者数は1,128名で、そのうちWEB受講が973名(86.3%)、会場での受講が155名(13.7%)となり、WEB受講の利便性が高く評価されている。

この教室は、受講者が浄化槽に関する知識を習得し、適切な維持管理を実践するための有効な研修機会として位置づけている。今後も受講効果を検証しつつ、必要に応じて内容の充実を図っていきたい

	令和5年度	令和6年度	差異
対象数	1,713基	1,755基※	42基
開催回数	21回	20回	▲1回
受講者数 (内訳)	1,172名(68.46%)	1,128名(64.3%)	▲44名
会場受講	194名(16.6%)	155名(13.7%)	▲39名
WEB受講	978名(83.4%)	973名(86.3%)	▲5名

※対象者数：令和6年4月～令和6年6月12月末に設置申請が提出された件数です。

令和6年2月～令和6年3月末に設置申請されたうちの教室未受講者



阿南会場(6/12)



徳島会場(7/20)

2) 行政担当者向け研修会の開催

年度を区切りとして、各市町村の浄化槽担当者が交代するため、行政担当者を対象にセンター主催で「行政担当者説明会」を実施し、浄化槽に関する各種情報を提供した。

【令和6年度 行政担当者説明会】

- 日 程： 令和6年6月21日
- 開催場所： (公社)徳島県環境技術センター4階
- 出席人数： 市町村行政関係者29名
- 内 容： ・浄化槽の基礎知識及び法定検査実施状況について
・「浄化槽」に関する最近の動向及び徳島県での取り組みについて
・7条検査における指摘事項とその改善について



令和6年度行政担当者説明会(6/21)

3) 徳島県浄化槽保守点検業者登録条例に基づく浄化槽管理士研修の開催 (1,092千円)

「徳島県浄化槽保守点検業者登録条例」に基づき、浄化槽保守点検業に登録している浄化槽管理士には研修会の受講が義務付けられている。当センターは、県の指定機関として以下の日程で浄化槽管理士向けの研修を実施した。

- 開催日程：第1回 7月9日 (102名受講) (会場：あわぎんホール)
 第2回 10月8日 (46名受講) (会場：徳島県立西部防災会館)
 第3回 10月17日 (74名受講) (会場：あわぎんホール)
 第4回 10月22日 (48名受講) (会場：阿南市文化会館)

○内 容：【浄化槽管理士の研修プログラム】

<全国共通枠>

- I 浄化槽行政の動向
- II 浄化槽の構造と機能
- III 浄化槽の保守点検と清掃

講師：(公財) 公益財団法人日本環境整備教育センター

講習事業グループ サブリーダー 加藤 裕之 氏

<地方枠>

IV 地域における浄化槽情報

○浄化槽法定検査の結果について

講師：公益社団法人徳島県環境技術センター

事業推進部長 川原浩二

○浄化槽に関する施策展開と普及状況

講師：徳島県県土整備部水環境整備課

主任主事 林 貴大 氏

浄化槽管理士研修会



あわぎんホール(7/9)

4) センター主催による浄化槽技術者講習会の開催

事業所の社員を対象に、高い技術力を持った資格者を育てるための講習会（浄化槽技術者講習）を開催し、併せて最新機器の展示も行った。

○日 程 : 令和7年2月6日

○開催場所 : 中央テクノスクール

○内 容 : ①小型合併浄化槽（CA型）の性能及び技術的な説明

講師：フジクリーン工業株式会社 大阪支店

技術課 主幹 原田 幸一郎

②企業防災について

講師：東京海上日動火災保険株式会社 徳島支店

徳島営業課 課長代理 上林 祐介

③災害時の浄化槽について

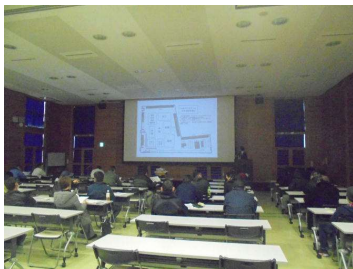
講師：公益社団法人徳島県環境技術センター

検査部 副部長 河本 慎次郎

④浄化槽に関する情報提供

講師：公益社団法人徳島県環境技術センター

検査部 課長補佐 小泉 允人



浄化槽技術講習会 (2/6)

（7）浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業

1) 全浄連ニュース

浄化槽に関する最新情報を提供するため、全浄連が作成発行している「全浄連ニュース」を各関係機関に無償配布した。

2) その他の情報提供

各市町村が行う補助事業の補助額や必要書類について調査を行い、その情報を取り纏めた一覧表を作成し、関係者に配布した。

（8）地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業

1) 「とくしま浄化槽連絡協議会」への参画

<第9回とくしま浄化槽連絡協議会（5月15日開催 東部防災館）>

現防災協定の見直しに加え、復旧支援に対応する新たな協定案や、浄化槽の普及促進と適正な維持管理に関する環境省への要望書（案）などについて部会関係者から提案がなされ、今後の活動方針が協議された。

【議事】

- （1）防災協定（案）の見直し
- （2）国への要望書（案）について
- （3）DX化への取り組みについて
- （4）標準契約書について
- （5）その他

<第10回とくしま浄化槽連絡協議会（2月12日開催 徳島グランヴィリオホテル）>

8月に締結された災害支援協定の説明のほか、現在進めている浄化槽台帳（DX化）や維持管理標準契約書の見直しに関する進捗等を報告した。

また、浄化槽業界が抱える要望が示され、今後の検討事項として取り組む方針となった。

【議事】

- （1）浄化槽台帳（DX導入）について
- （2）標準契約書の見直し
- （3）新たな防災協定と訓練について
- （4）浄化槽業界からの要望
- （5）徳島県浄化槽整備事業費補助金について

とくしま浄化槽連絡協議会とは

浄化槽法改正に伴い、令和2年8月に県水・環境課の主導のもと設立された協議会。この協議会は、県および市町村の担当者、工事業者、浄化槽清掃業者、浄化槽保守点検業者、指定検査機関、メーカー、市町村設置型浄化槽整備特別目的会社など、官民の幅広い関係者で構成。この組織を通じて、地域における浄化槽に関連する様々な課題の解決に向けた共同を進めている。

2) 合併浄化槽転換推進事業

① 徳島市合併浄化槽転換推進事業

（419千円）

令和6年度の徳島市合併浄化槽転換推進事業においては、検査員が単独浄化槽の設置者に対し、合併浄化槽の利点を説明するとともに、啓発用パンフレットを配布し、転換の促進を図った。

例年、同様の対象者に対する啓発活動が継続されていることから、さらなる効果的な情報提供を目的として市と協議を行い、今年度はパンフレットの内容を見直し、転換の意義がより伝わる構成へと改訂した上で推進を実施した。

転換推進啓発内容	令和5年度	令和6年度	前年度対比
パンフレット配布業務	5,728件	5,993件	265件
合併への転換説明業務	1,848件	1,399件	▲449件
啓 発 数 計	7,576件	7,392件	▲184件

<参考>徳島市設置事前検査における設置・転換状況

	～29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	累計
設置	1,777	574	0	0	0	0	0	0	2,351
転換	168	44	45	71	83	43	61	72	587



転換啓発用パンフレット（徳島市）

②勝浦町 浄化槽転換推進業務 (18千円)

勝浦町の20人槽以下の施設に対し、町が作成した合併浄化槽パンフレットを検査結果書に同封し、合併浄化槽への転換を促進した。

【 発送業務 289件 】

③東みよし町 浄化槽転換推進事業業務 (83千円)

東みよし町での浄化槽PFI事業の一貫として、全ての単独処理浄化槽設置者に対し、検査結果書と共に転換啓発用パンフレットを発送し、普及促進を進めた。

【 発送業務 977件 】

3) 全浄連 浄化槽システムの脱炭素化推進事業 (575千円)

全浄連の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(浄化槽システムの脱炭素化推進事業)の実施にあたり、センターが県内の受付窓口を行った結果、令和6年度は13件の申請を受け付けた。

<申請受付状況>

- (1)：30人槽以上の既設合併処理浄化槽に付帯する電動機器の高効率機器改修事業
 - 受付件数 13件
 - 補助金申請額 17,797,000円
- (2)：30人槽以上の既設合併処理浄化槽から省エネ型浄化槽への本体交換事業
 - 受付件数 0件
- (3)：上記(1)又は(2)事業と併せて実施する再生可能エネルギーの導入事業
 - 受付件数 0件

(9) その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業

1) 災害支援活動に向けた取り組み

①災害支援協定の見直し・締結

令和6年1月に発生した能登半島地震の教訓を踏まえ、これまでの災害支援協定の見直しを図り、災害発生時の「応急対応」から「復旧対応」に至るまでの支援体制を組み入れた「大規模災害発生時における浄化槽の応急・復旧支援活動に関する協定書」の締結を行った。

<締結にかかる組織・関係団体>

- ・徳島県
- ・徳島県市長会
- ・徳島県町村会
- ・公益社団法人徳島県環境技術センター
- ・一般社団法人徳島県環境保全協会
- ・徳島県環境整備事業協同組合
- ・徳島県市町村設置型浄化槽整備特別目的会社

8月26日 「大規模災害発生時における
浄化槽の応急・復旧支援活動に関する協定書」締結式



大規模災害発生時における
浄化槽の応急・復旧支援活動に関する協定書締結式(8/26)

②徳島県総合防災訓練への参加

- 開催日時：令和6年11月7日(木)
- 訓練場所：主会場 鳴門ウチノ海総合公園（徳島県鳴門市）
副会場 鳴門西小学校（徳島県鳴門市）
- テーマ：「大規模地震・津波被害を想定した実戦的訓練」
（南海トラフを震源とする地震及び津波）
- 訓練内容
 - ・市町村を跨いだし尿の収集・運搬訓練
 - ・避難所衛生環境維持のための高圧洗浄車及び給水車の派遣
 - ・仮設トイレ、マンホールトイレ、モバイル式地上設置型浄化槽の設置訓練
 - ・快適トイレ及びマンホールトイレの展示
 - ・災害時浄化槽コールセンターの開設訓練
 - ・浄化槽の被害状況調査訓練



徳島県総合防災訓練（11/7）

③徳島県防災図上訓練の参加

県の「徳島県防災図上訓練」では、県から発出される仮設トイレやし尿の収集運搬の要請に対し、センターが窓口となって関係団体・会員企業への支援要請の伝達を行った。

- 令和7年1月15日 徳島県防災図上訓練に参加

2) 「みなみから届ける環づくり会議」への参加

企業、民間団体、研究機関、行政などの15団体と3名の研究者が、県南で環境課題の解決を目標に活動している産学官民の協働体である。当センター担当者は幹事として参画し、各種イベントの開催について協議を行ってきた。

【会議への参加】

- 4月24日 みなみから届ける環づくり会議 第1回水質WG会議（WEB会議）
- 6月17日 みなみから届ける環づくり会議総会
- 7月23日 みなみから届ける環づくり会議 第2回水質WG会議（WEB会議）
- 9月 2日 みなみから届ける環づくり会議 第3回水質WG会議（書面決議）
- 11月14日 みなみから届ける環づくり会議 第4回水質WG会議（書面会議）
- 3月25日 みなみから届ける環づくり会議 第4回水質WG会議（書面会議）

【イベントへの参加】

- 7月27日 「夏休み出動！川の調査探検」（阿南市三谷川・打樋川）
- 11月16日 工場へ出勤！水の調査探検（阿南市日亜化学工業㈱本社）



「夏休み出動！川の調査探検」（7/27） 工場へ出勤！水の調査探検（11/16）

3) 環境学習の取り組み

学校教育において、環境学習に熱心に取り組んでいる学校を対象に、出前講座を行い、科学実験などを通して水の大切さを学んでもらう活動を行った。

（小学校－27回 計27回）

【環境学習への取り組み】

- | | |
|---------------|--------------|
| 6月18日 八幡小学校 | 6月19日 伊沢小学校 |
| 6月20日 内町小学校 | 6月27日 桑島小学校 |
| 6月28日 藍住西小学校 | 7月02日 南井上小学校 |
| 7月04日 鴨島小学校 | 7月05日 神領小学校 |
| 7月08日 池田小学校 | 7月10日 西麻植小学校 |
| 7月12日 今津小学校 | 7月17日 学島小学校 |
| 8月05日 板野西小学校 | 8月27日 堀江南小学校 |
| 9月04日 小松島小学校 | 9月05日 黒崎小学校 |
| 9月06日 由岐小学校 | 9月10日 森山小学校 |
| 9月11日 城東小学校 | 9月12日 明神小学校 |
| 9月18日 羽ノ浦小学校 | 9月20日 御所小学校 |
| 9月26日 高志小学校 | 9月30日 千代小学校 |
| 10月9日 江原南小学校 | 10月17日 児安小学校 |
| 10月29日 知恵島小学校 | |



八幡小学校 (6/18)



伊沢小学校 (6/19)



内町小学校 (6/20)



桑島小学校 (6/27)



藍住西小学校 (6/28)



南井上小学校 (7/02)



鴨島小学校 (7/0)



神領小学校 (7/05)



池田小学校 (7/08)



西麻植小学校 (7/10)



今津小学校 (7/12)



学島小学校 (7/17)



板野西小学校 (8/05)



堀江南小学校 (8/27)



小松島小学校 (9/04)



黒崎小学校 (9/05)



由岐小学校 (9/06)



森山小学校 (9/10)



城東小学校 (9/11)



明神小学校 (9/12)



羽ノ浦小学校 (9/18)



御所小学校 (9/20)



高志小学校 (9/26)



千代小学校 (9/30)



江原南小学校 (10/9)



児安小学校 (10/17)



知恵島小学校 (10/29)

4) 「浄化槽の日」ポスターコンクールの開催

未来を担う子どもたちに、水の大切さを知ってもらうため夏休み課題のポスターを募集した。今年度は85作品の応募があり、10月3日に優秀作品の選考会、11月18日には徳島県知事による表彰状の授与式が行われた。優秀作品については、県庁などで一般公開したほか、令和7年度のカレンダーに活用し、小中学校に配布した。

7月～9月	県内小中学校へ作品の募集
9月 4日	応募締切（85作品：小学校65点、中学校20点）
10月 3日	応募作品審査会（応募85点 最優秀-2点、優秀-6点、佳作-20点）
11月18日	徳島県庁11階にて優秀作品表彰式

令和6年度「浄化槽の日」ポスターコンクール



（小学校の部 最優秀作品）



（中学校の部 最優秀作品）



（表彰式で政策監と記念撮影）

5)「水すまし隊」による活動

県内のこどもたちに「水の大切さ」や「環境保護」の重要性を伝えるため、センターの若手職員を中心に様々なイベントを企画し、幅広い啓発活動を展開した。また、ホームページのブログでは、水すまし隊の活動やメンバーからの報告を掲載した。

- 4月 7日 津田地区「六右衛門祭り」
地域の活性に貢献するため、スーパーボールすくいを行い、同時に浄化槽の適正な維持管理を啓発した。
- 6月 1日 あすたむらんど エコ工作 『ペットボトルでじょうろ』
使用済のペットボトルを用いて、じょうろを作った。
- 8月24日 エコみらいとくしま 『夏×自由×探求!』
市民の方に、水環境保全の重要性を楽しみながら深く理解していただく講座を行った。
- 11月 9日 サイエンスフェア2024 おもしろ博士の実験室
『SPACE STEAM FESTIVAL in あすたむらんど徳島』というタイトルから、宇宙に関連するエコ工作として、ストローロケットと牛乳パックで発射台を作成した。子どもたちは、宇宙をイメージして装飾した発射台を力いっぱい押して、高くロケットを何度も飛ばしていた。



六右衛門祭り (4/7)



あすたむらんど月間イベント(6/1)



エコみらいとくしま(8/24)



サイエンスフェア 2024(11/9)

6) 清掃活動

徳島市パークアドプト清掃活動に参加し、津田海岸町の公園で清掃を実施し、地域の美しい憩いの場を確保した。

活動実施日：5月31日、10月24日、12月17日、2月18日

7)「リフレッシュ瀬戸内」への活動参加

国、県、市町村等関係機関で構成する瀬戸内・海路ネットワーク推進協議会の事業であり、センターも積極的に協力している。

- 5月17日 金磯海岸水質検査の実施
センターの協賛事業として横須金磯海岸付近の水質検査を実施し、分析結果の報告を行った。
- 6月 8日 「リフレッシュ瀬戸内」清掃ボランティア活動の参加
役職員合わせて約 70 名が参加し、横須・金磯海岸の清掃奉仕活動を行うとともに、参加者にセンターオリジナルのうちわを配布し、浄化槽の適正な維持管理の啓発を行った。



パークアクトプ清掃活動(5/31)



リフレッシュ瀬戸内清掃ボランティア活動(6/8)

8) CSR（企業の社会的責任）活動の報告について

ホームページ上に上記活動をCSR活動報告として公開した。

URL : <https://www.tokushima-env.jp/contents/csr/index.html>

(10) その他の事業

1) 職員の技術向上

職員の技術向上を徹底するため、積極的に研修会・講習会に参加し、能力・知識の向上に努めた。

- 6月20日 フルハーネス型安全帯使用作業特別教育講座（3名）
7月18日 フルハーネス型安全帯使用作業特別教育講座（1名）
8月22日 フルハーネス型安全帯使用作業特別教育講座（1名）
9月4日～9月9日
浄化槽検査員講習（2名）

2) 個人情報取扱に関する取り組み（プライバシーマーク制度）

センターは、JIS 規格に適合した個人情報マネジメントシステムを構築し、それに基づく適正な運営を実施、プライバシーマークの認定を受けている。また、全職員を対象とした月一回の e-ラーニングや個人情報に関する理解度確認テストなどの体制を整え、継続的な業務の精度向上を図っている。

- 5月10日 コンプライアンス研修
7月12日 Pマーク付与適格性更新審査（更新済）
2月28日 プライバシーマーク内部監査



3) エコアクション21の取り組み

また、同様に認証を受けているエコアクション21についてもマネジメントシステムを遵守しながら、廃棄物排出量や節電等、環境への取り組みを行っている。

今年度は6月に中間審査が行われた。

6月5日 エコアクション21 中間審査



4) 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会

4月12日 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会総会（徳島）

7月11日 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会事務局引継ぎ（香川）

9月12日～13日

検査機関四国地区協議会検査員研修会（香川）

10月18日 浄化槽四国合同セミナー（香川）

11月19日 第15回法定検査機関四国地区協議会ソフトボール大会（香川）

2月25日 全浄連・指定検査機関四国地区業議会 事務局長会議（東京）



全浄連四国地区協議会総会(4/12) 四国地区協議会検査員研修会(9/12・13)



浄化槽四国合同セミナー（10/18）

【収益事業 1】

2 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業

(1) 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業 38,580千円(計量証明手数料)

濃度計量証明事業として特定事業場排水の分析を主に水質分析を実施した。

令和6年度の証明件数は3,012件で売上げは38,580千円であった。

(前年度比 売上額:525千円減) (P.49)

(2) 旧吉野川流域下水道の指定管理事業

指定管理者の共同事業体として、水処理施設・汚泥処理施設の運転管理上必要な試験検査等「水質等管理運営業務」を実施した。

令和6年度の売上げは9,108千円であった。

(3) 分析業務に関する講習会・研修会・会議等

<研修会・講習会>

6月27日 令和6年度徳島県計量協会通常総会

7月19日 令和6年度 高圧ガス消費者保安講習会

10月11日 令和6年度 山口県環境計量証明事業協会 技術研究会 (WEB)

1月28日 環境計量証明事業者クロスチェック事業結果検討会

3月28日 計量証明事業規定細則10.3に基づく研修会

【収益事業 2】

3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業

(1) 浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業

1) 会員従業員の資格取得の支援

会員従業員の高い知識や技能、技術力の習得を目指し、資格取得に関する試験対策講座を開催した。

○4月6日(土)～7日(日) 第2種電気工事講習会(筆記講習)

(主催:(一社)日本科学技術センター)

○6月7日(金)～8日(土) 浄化槽設備士「試験対策講座」(9名)

(講師:(株)ハウステック)

○6月8日(土)～9日(日) 第2種電気工事講習会(技能講習)

(主催:(一社)日本科学技術センター)

○7月17日(水)、11月13日(水)、11月20日(水)、11月27日(水)

浄化槽設備士特別認定「講習会」(新規)

(主催:(公社)徳島県環境技術センター)



浄化槽設備士試験対策講座(6/7・8)



浄化槽設備士特別認定「講習会」(7/17)

2) 徳島県浄化槽管理士会との共催事業

県内の保守点検業者・清掃業者等の業界関係者を対象とした令和6年度浄化槽技術講習会を開催した。

【令和6年度 浄化槽技術講習会】

開催日：令和6年11月16日（土） 午前・午後の2回開催

会場：（公社）徳島県環境技術センター

講義：「ダイキ浄化槽 XH型カットモデル・維持管理の基礎技術について」

（講師）株式会社ダイキアックス

3) 徳島県浄化槽設備士会との共催事業

センター会員・徳島県浄化槽設備士会会員等の業界関係者を対象に、徳島県浄化槽設備士会との共催で令和6年度浄化槽工事技術講習会を開催した。

【令和6年度 浄化槽技術講習会】

開催日：令和7年2月1日（土）

会場：（公社）徳島県環境技術センター

講義：「浄化槽工事について」

（講師）株式会社ハウステック



浄化槽技術講習会(管理士会) (11/16)



浄化槽技術講習会(設備士会) (2/1)

4) 汚水処理施設の管理及び技術指導に関する事業

①指定管理者の共同事業体であるテスコ株式会社へ当センター職員を出向させ、旧吉野川流域下水道の「管理運営業務」に従事し、下水道管理の専門的な知識や技術を取得するとともに、職員の技術力の向上を図った。

②水質及び運転管理業務を通じて、運転コスト削減（管理運転の最適化）の実現に向け、事例調査、現状把握、最適化の検証に取り組んだ。

（2）浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業

1) 保証登録電子申請

保証登録申請書の電子申請によって、浄化槽工事業者に対する申請から登録証明書発行までの事務の効率化により、期間が短縮された。

2) プレキャストコンクリート底板の販売

令和6年度のプレキャストコンクリート底板（PC底板）の売上は5,633千円であった。（昨年度比 2,298千円減）

また、販売する底板の品質を十分確保するため、定期的に製造工場で検品を行っている。
5,633千円

底板等種類	販売数量	売上金額
5人槽（1枚もの）	274枚	4,230千円
5人槽（2分割）	3枚	57千円
7人槽（1枚もの）	58枚	1,145千円
ブロワ台	104台	173千円

（3）その他前各号に関連する事業

各種用紙及び物品等の販売事業

区分	品名	数 量	金 額
各種用紙 書籍販売	浄化槽設置届出書・計画書	2,193部	439千円
	標準契約書	2,082部	426千円
	浄化槽変更計画書・変更届出書	44部	8千円
	標準保守点検記録票	2,125部	1,375千円
	標準清掃記録票	96部	48千円
	保守点検業登録申請書	19部	9千円
	し尿浄化槽処理対象人員・汚水量算定要領	66部	86千円
	その他	9部	11千円
機器販売	鍵付万能フック（30cm）	1,258本	1,680千円
	鍵付万能フック（44cm）	926本	1,642千円
	その他	—	121千円

【その他の事業】

4 管理部門（法人）

（1）法人運営に関する事業

1) 監査・総会の開催

【会計・業務監査】

- 4月22日 令和5年度の会計監査・業務監査を行った。
- 10月25日 令和6年度上半期の会計監査・業務監査を行った。

【定時社員総会】

- 5月28日 第14回定時社員総会を開催し、令和5年度の事業報告・決算報告並びに任期満了に伴う役員改選を行った。



会計及び業務監査(4/22)



第14回定時社員総会(5/28)



会計及び業務監査(10/25)

2) 常任理事会・理事会の開催

センターの運営にかかる議題をもとに常任理事会・理事会を開催した。
・常任理事会（１２回）、理事会（１１回）

3) センター所属部会の開催

【センター各種部会】

県から提示された維持管理標準契約書の見直し案の検討や、直面する課題や提案を協議するため所属部会の開催を決定した。

○メーカー部会（１０月１０日） ○清掃部会（１０月１６日）
○保守点検部会（１０月１６日） ○施工部会（１０月２３日）

○議事：（１）浄化槽維持管理標準契約書の見直し案について
 （２）浄化槽台帳システムのDX化に向けた取り組みについて
 （３）直面する課題について

4) 全浄連関係会議

【浄化槽ビジョン検討会】

４月１７日 2024 浄化槽ビジョン検討会（第７回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
５月２３日 2024 浄化槽ビジョン検討会（第８回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）

【総会・理事会・委員会・その他】

４月３０日 全浄連 事業委員会（第1回）（WEB 会議）に出席した。
５月１０日 全浄連 正副会長会（第１回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
６月２８日 全浄連 定時総会（第12 回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
７月３１日 全浄連 総務委員会（第１回）（WEB 会議）に出席した。
９月 ６日 全浄連 総務委員会（第３回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
11月29日 浄化槽推進議員連盟・懇話会 総会
2月27日 全浄連 総務委員会（第４回）に出席した。（全浄連）

（２）会員関係

< 会員の入・退会状況 >

令和 7 年 3 月 3 1 日現在

地 区	会員数	入会会員	退会会員	差引会員数	備 考
徳 島	5 8 社	0 社	0 社	5 8 社	
鳴 門	9 社	0 社	0 社	9 社	
小 松 島	8 社	0 社	0 社	8 社	
阿 南	1 6 社	0 社	0 社	1 6 社	
海 部	7 社	0 社	0 社	7 社	
阿 北	8 社	0 社	0 社	8 社	
美 馬	1 0 社	0 社	1 社	9 社	
三 好	2 1 社	0 社	0 社	2 1 社	
メーカー	1 1 社	0 社	0 社	1 1 社	
合 計	1 4 8 社	0 社	1 社	1 4 7 社	

<退会会員>

地 区	会 員 名	代 表 者	退 会 日	部 会
美 馬	(有)イワイ	中川 徹	R07. 3.31	施 工

※同代表者は、新たな企業として令和7年度に入会される予定です。

<会員内訳>

地 区		施 工	保守点検	清 掃	合 計
東 部	徳 島	2 7 社(1)	2 3 社(1)	1 1 社(1)	6 1 社(3)
	鳴 門	7 社	2 社	0 社	9 社
	小 松 島	5 社	0 社	3 社	8 社
	阿 北	2 社	0 社	6 社	8 社
南 部	阿 南	1 3 社	3 社(2)	2 社	1 8 社(2)
	海 部	3 社	3 社	1 社	7 社
西 部	美 馬	6 社	1 社	2 社	9 社
	三 好	1 5 社	5 社	1 社	2 1 社
メーカー					1 1 社
合 計		7 8 社(1)	3 7 社(2)	2 6 社(2)	1 5 2 社(5)

※カッコ内の数字は複数部会に所属する会員数

(3) その他

1) 許認可に関する事項

- ①徳島県告示第255号浄化槽法に基づく法定検査機関の指定（昭和62年3月27日）
- ②計量証明事業登録（平成12年12月14日 第74号）
- ③建築物飲料水水質検査事業（平成26年2月17日 徳島県東保26水 第1号）

2) 変更認定申請書

役員変更に伴う変更届出書を提出（令和6年4月15日・6月14日・8月6日）

3) 役員等に関する事項

（令和7年3月31日現在）

役 職	氏 名	勤務体系	所 属 および 役 職
会 長	田村 茂人	非常勤	豊栄設備工業(株) 代表取締役
副 会 長	森 玄德	非常勤	(有)森清浄社 代表取締役
〃	井内 孝明	非常勤	(有)井内開発 代表取締役
専務理事	奎保 恭章	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局長
常任理事	加統 叙男	非常勤	(株)ハウステック 所長
理 事	高尾 武司	非常勤	(株)ユニペック 代表取締役
〃	岩本 英司	非常勤	(株)岩本総業 代表取締役
〃	林 哲郎	非常勤	毎日衛生(有) 代表取締役
〃	村上 宗用	非常勤	徳島県県土整備部水環境整備課 課長
監 事	長地 孝夫	非常勤	公認会計士 長地孝夫事務所 公認会計士
〃	志摩 恭臣	非常勤	朝田啓祐法律事務所 弁護士

4) 職員に関する事項

(令和7年3月31日現在)

職 員 数		入 社	退 社	平均年齢	平均勤続年数
男性	59 名	1 名	2 名	46.1 才	15.8 年
女性	21 名	0 名	0 名	45.1 才	15.2 年
合計又は平均	81 名	1 名	2 名	45.9 才	15.6 年

5) 法令遵守に関する事項

①交通事故

交通事故の発生を抑止するための措置として、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入している。また、道路交通法の改正によりアルコールチェックが義務化されたことから、アルコール検知器を用いて酒気帯びの有無を確認し、安全な運転の確保に務めている。

大きな事故の発生は無いが、未だ不注意による事故が発生していることから、一定以上の事故を起こした職員には教習所での安全運転講習の受講させている。

事 故 内 容		R5年度	R6年度	前年対比
物損事故	任意保険対象外事故	37 件	28 件	▲9
	任意保険適用事故	7 件	7 件	0
人 身 事 故		0 件	0 件	0
合 計		44 件	35 件	▲9

②個人情報保護

個人情報の不適切な管理を防ぐため、個人情報保護マネジメントシステムに基づき業務を行っている。

- ・個人情報保護に関する事故（0 件）

③労務管理上の事故

安全衛生委員会を毎月開催し、労務上の事故防止や職員の健康管理について協議し職員周知・研修等を行った。

- ・労災申請件数（3 件） ※作業時の腰痛、通勤時の怪我ほか
(前年度：1 件)

6) 内部統制システムの運用状況

理事の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制として、社員総会議事運営規則、入会・退会等に関する規則、役員報酬規則、理事会規則、常任理事会規程、役員等職務権限規程、委員会規程、経理規程、財産管理運用規程、印章管理規程、情報公開規程、公益通報者保護に関する規程等を制定し運用している。

5 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。